



人の流れを加速

— 首都圏でフル稼働する情報拠点 —



やまなし暮らし支援センターのスタッフ

山梨を愛するスタッフが、移住希望者の皆さまの相談に耳を傾け、やまなし暮らしを実現するお手伝いをしています。移住者と山梨の架け橋になることで、人の流れや産業の発展などへつながっていくよう、毎日頑張っています。



やまなし暮らし支援センター

**親身な対応と具体的な情報提供で
移住の夢をサポート**

まずは「聴く」ことから
個々に応じた情報提供

やまなし暮らし支援センターでは、山梨県の人口減少を食い止めるために、定住人口確保対策の一環として東京などの都市部から山梨への移住を検討している方の相談を受け付けています。住宅情報、生活情報、就職情報などを提供する窓口として、親身になって話を聴く中で、その方に合った移住を一緒に考えています。年間約2千件の相談を受け、オープン以来すでに500人以上の方が山梨に移住をしています。これまではリタイア後の生活を考える60代からの移住が多かったのですが、最近は山梨で子育てをしたいと考える20〜40代の若い世代の移住希望者が増えてきました。それに伴い、仕事や子育て環境についての具体的な相談が多くなっています。

オール山梨で
移住者の受け入れ実現を

東京で開催する「オール山梨移住セ



東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館 8F
NPOふるさと回帰支援センター内
TEL 03-6273-4306

やまなし暮らし支援センター

当センターも最近では県民の皆さまに広く知っていただき、農家、企業、個人経営者からの相談も多く寄せられるようになりました。地元にも貢献できる移住のために、幅広い情報の提供をお待ちしています。



やまなし暮らし支援センター
移住専門相談員
倉田 貴根 さん

東京・有楽町の東京交通会館内に平成25年6月にオープン。専門の移住相談員、就職相談員が常駐し、移住や二地域居住を考えている方の相談に対応している。

人の流れ

《人の流れをつくり地域経済を創生する》

『山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略』

山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略では、県人口ビジョンに描く将来展望を実現するため、5つの基本目標を定め、目標達成に向けて具体的な施策を着実に実施しています。



(公社)やまなし観光推進機構
首都圏誘客担当 海野 達矢さん

お客さまの目的に合った情報提供ができるように、会話を通して思いをくみ取り、さまざまなパンフレットの中から、その方に合ったものを選んでご案内をしています。パンフレットのディスプレイにも季節感を出すなど、工夫をしています。



富士の国やまなし館

東京・日本橋に平成16年10月にオープンした、山梨県のアンテナショップ。ワインなど特産品の販売をはじめ、イートインスペースを設置。情報総合館として、旬の観光情報の提供など山梨の魅力を発信している。

魅力あふれる山梨の「旬」な観光情報を首都圏で発信

さまざまなニーズに応える豊富な情報を提供

富士の国やまなし館は、J R東京駅や、地下鉄の日本橋駅からも近い好立地ということもあり、買い物途中の主婦層やビジネスマンの方々が多く立ち寄ります。観光案内ブースには、果物狩り、ワイナリー巡りなど山梨の食に関することや、自然豊かな山梨で季節を楽しむ観光情報を求める方が多いです。中でも、桜と桃の花の見頃はよく聞かれるので、地域ごとの満開時期や名所、それにプラスして周辺地域の観光スポットなどもお伝えしています。最近では野菜の収穫作業など、体験型の観光情報を求める方が増えています。多くの方に山梨の「旬」を知っていただくために、私たちも常にアンテナを高くし、情報収集をしています。

まだ知られていない山梨の魅力を広めたい

首都圏のメディア関連企業約120社に、毎月、『山梨県観光情報便り』を



(公社)やまなし観光推進機構
観光物産宣伝担当
中島 洋史 さん

提供するなど、きめ細かい対応をとっています。私はここに勤務して8年になります。私はここに勤務して8年になります。ですが、ご案内した方から「すごく楽しかったよ、ありがとう」と言われると、とてもやりがいを感じます。山梨県全体をカバーした情報の多さが案内ブースの強みです。これからは、まだまだ知られていない山梨の一步踏み込んだ魅力を発信していきたいですね。



東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋 プラザビル1F
TEL 03-3243-8600 (観光案内) 11:00~18:00
03-3241-3776 (物販) 11:00~19:30

富士の国やまなし館